

活きた社内制度

人を大切にする  
56  
社の法定外福利厚生

いい会社には、



がある。

効果的導入・運用で  
元気な職場😊

社会人学生たちが全国を歩いて集めた  
オリジナル福利厚生の先進事例は、  
経営者・社員たちの知恵の結晶です。

坂本光司  
⑧ 人を大切にする経営学会  
経営人財塾5期生



## ●代表的・ユニークな法定外福利厚生制度

同社が現在実施している法定外福利厚生制度の中で、代表的・ユニークな制度「親孝行手当」、「家族感謝手当」を紹介します。それぞれ毎年4月と5月に1万円が支給されます。社員に支給された手当を使って、自分の親や家族に対し感謝の念をもった孝行の実践を推奨しています。親や家族に対する孝行や感謝の内容などは会社の社内報「フレッシュユタニサケ」にも掲載され、共有が図られます。

A子「私は現在妊娠中で、近く出産予定です。つわりを経験し、これから出産も経験しますが、妊娠してから世の中の「お母さん」は偉大だなあと改めて感じました。そのため、実母と義母に感謝の気持ちを伝えたいと強く思い、ふたりとも、花が好きなので、花を買ってプレゼントしました。私もふたりのような母親になれるように、不安でいっぱいですが、がんばっていきます」（「フレッシュユタニサケ」2022年5月号、タニサケ親孝行物語―2022―）

## ●今後充実したい法定外福利厚生制度

大切なのは、「私のタニサケと誰もが思い、会社の中で、仕事の中で、自己実現ができると感じる社風をつくること」と話す清水社長。今後追加される心温まる制度が楽しみです。

## 企業データ

社名：株式会社タニサケ 代表者：清水勝己 所在地：岐阜県揖斐郡池田町片山2957の1  
 主事業：防除用医薬部外品製造／販売 創業年：昭和60年4月 社員数：39名（男性23名、女性16名） 最年長社員71歳・  
 最年少社員27歳

## 25

## 社員が幸せな日本一の知恵工場

株式会社タニサケ（防除用医薬部外品製造販売／岐阜県掛斐郡）

## ●会社の概要・特長

タニサケは、1985年に岐阜県垂井町で、前身となる株式会社谷酒生物公害研究所として設立、生産工場は同県池田町青柳に建設されました。1989年に池田町片山に新工場が建設され、社名をタニサケに変更しました。社員数は39名、社員の年齢層は、71歳から27歳です。正規社員数は31名で約8割が正規社員です。さわやかさん（パートタイマー）は有期契約ですが、会社から契約終了した事例はなく実質無期雇用であると言えます。同社の過去2～3年の正社員の転職的離職率が3・8%です。

主事業は、ゴキブリ殺虫剤「ゴキブリキヤップ」をはじめとする防除用医薬部外品などの製造販売です。同社は「ゴキブリに困っている世界中の人たちを助きたい」という思いから、タマネギの成分で引き寄せて駆除するという、今までにない「ゴキブリだんご」を開発。

その当時はゴキブリの駆除剤というものはまだ一般的ではなく、当初は、その作り方を全国各地の婦人会などで教えて回る、いわば「互助会」のような形で誕生。

しかし、その後、顧客から「作るの面倒だから、製品を作って販売してほしい」という要望が多数寄せられたため「ゴキブリキヤップ」として販売を開始。それから35年以上にわたり、現在ではゴキブリ殺虫剤のほか、ネズミ駆除剤、ナメクジ駆除剤、ムカデ忌避剤等の製品の製造・販売を行うまでに至りました。

同社は、「忠恕」「社員中心主義」「先も立ち、我も立つ」を経営理念としています。また、社訓として以下を標ぼうしています。人に喜ばれること（一隅を照らす）・一日一日を「よりよく」前向きに生きる（脚下の実践）・即行（お客様に感動を与える）・明るく、楽しく、おもしろく（底抜けの明るさ）。

また、同社は健全経営を続けており、1985年創業から36期連続黒字であり無借金経営です。全国トップクラスの利益率を誇り「日本一の知恵工場」とも呼ばれています。経営のノウハウを教える研修会「タニサケ塾」を20年間開催もしています。※忠恕とは、まごころと思いやりの意味

## ●法定外福利厚生に関する基本的姿勢・運用

同社では新しい法定外福利厚生を始める時に、社員が喜ぶかどうかを第一に判断しています。実施前と実施後に社員に意見を聞くようにしており、その結果、一度やり始めると長く継続していくこととなります。これが同社の法定外福利厚生に関する基本的姿勢です。